

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第3回）

2 開催日時 令和8年1月29日（水）13:30～15:30

3 開催場所 岐阜城北高等学校 校長室

4 参加者	会長 神谷 政人	岩野田まちづくり協議会 事務局員
	副会長 河野 隆	はなぞの北幼稚園 園長
	委員 菊池 啓子	中部学院大学短期大学部 教授
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ
	林 政明	三田洞地区自治会長
	中村 有希	ファンションデザイナー
	長屋 結子	保護者会役員
		（欠席）

学校側	和田 摂子	校長
	柴田 幸美	教頭
	棚橋 英一	教頭
	高井 和子	事務長
	車戸 祐介	教務主任
	杉山 貴大	生徒指導部
	井口 貢志	進路指導部長
	亀山 貴美子	城北推進部長
	矢野 善樹	総合学科長
	坂 美里	生活デザイン科長

5 会議の概要（協議事項）

- (1) 地域連携、教育活動（学科の取り組みについて）
- (2) 令和7年度自己評価について
- (3) 意見

意見1：岐阜城北高校の生徒が行っている地域活動は、地域の活性化に貢献するとともに、生徒の社会性や主体性を育てる重要な学びとなっている。こうした取組を課題研究や総合的な探究の時間など、授業時間内に位置付けることで、より多くの生徒が地域と関わり、学びを深めることができると考える。

意見2：中学生の進路希望調査では定員割れの厳しい状況が見られるが、このような中でも城北高校が新しい目的意識をもって教育活動に取り組んでいることは、今後必ず成果につながると期待している。学力の向上に加え、会話力やコミュニケーション力の育成が一層重要であり、幼稚園・小中学校との連携を深め、学力の土台を共有していくことが必要である。

意見3：レインボーウィークについては効果測定を行い、短時間学習の成果を可視化することで、生徒の意欲向上につなげられるのではないかと考える。生徒指導については、対話を重視した寄り添う指導が適切に行われている一方、指導の方向性や基準を共有することも大切である。

意見4：多様な教育活動が行われているからこそ、それぞれの育成目標を整理し、体系的に見える化することで、教職員の共通理解を深め、負担の軽減につなげる必要がある。新しい活動を増やすだけでなく、既存の取組の見直しや精選も重要である。

意見5：城北塾やZIPプログラム、リアル課題学習などは、知識だけでなく、考える力・表現する力・他者と協働する力を育てる優れた取組であり、IQだけでなくEQを高め、他者から信頼され尊敬される人を育成する教育が実践されていると感じた。

6 会議のまとめ

- ・本校の教育活動、学科の取組について、様々な視点からのご意見をいただいた。改善が必要なところは速やかに対応し、今後の活動に活かしていきたい。